

地域子育て支援拠点の開設

予算額 1,694万円

これまでの地域子育て支援拠点である中央子育て支援センター、登別子育て支援センター、富岸子育てひろばに加え、4月から新たに鷺別子育て支援センターを開設し、子育て支援の充実を図ります。



◀ 鷺別児童館内に併設する『鷺別子育て支援センター』



子どもの医療費助成 予算額 5,414万円

拡大

これまで、小学校入学前までの子どもの通院・入院と小学生の入院に対して、医療費の一部を助成し、子育て世帯の経済負担を軽減していました。

8月診療分からは、対象者を拡大し、住民税非課税世帯の小学生の通院、中学生の入院・通院に対しても、医療費の一部を助成します。



子どものむし歯予防 予算額 50万円

新規

幼稚園や認定こども園などが行うフッ化物洗口に関する費用に対して補助を行い、子どもの健やかな成長を支援します。



▲ 洗口液を口に含んでぶくぶくうがいをする子ども

スポーツの活性化や子どもの夢を育む取り組み

予算額 122万円

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを契機に、子どもたちの夢を育み、スポーツの活性化を図るため、オリンピック出場経験のある方を講師として招き、講演会や実技指導などを行います。



◀ 北京オリンピックのバドミントン日本代表小椋久美子さんによる実技指導（昨年の様子）

市民憲章の普及・啓発の推進

予算額 57万円

平成30年度は、登別市民憲章が制定50周年の節目を迎えることから、登別市民憲章推進協議会と連携し、記念式典の開催や記念誌の発行などを行い、市民憲章に掲げる理念のさらなる普及を図ります。

市民憲章に込められた想いを、今号から一章ずつ紹介していきます（関連記事26ページ）

市のお金の使い方 平成30年度 主な事業

3つのキーワード

未来を担う
人づくり
まちづくり

誰もが住みやすい
安全安心な
まちづくり

持続・発展する
産業振興の
まちづくり

市民の皆さんのニーズをふまえ、3つのキーワードに重点を置き、予算を計上しました。ここでは主な事業について、キーワード別に紹介します。